

戦略基本目標 3 自然環境の適切な保全による、森・里・川・海などがもつ多様な機能の発揮

今町校区まちづくり協議会 小倉北区

実施内容

活動名称 紫川をシンボルとしたまちづくり
～紫川河川清掃、生きもの調べ～

取組内容

目的・趣旨 紫川は校区の東側に接し南北に流れる。この紫川を母なる川として愛し、自然環境を保全しようとする住民の心を育む。自然を大切にし、自然を守っていくことの大切さを感じ取ることを活動の基本とする。

活動内容

- ・紫川生きもの調べ
- ・紫川清掃（校区住民のほか、清掃活動）

成果 河川清掃は、毎月ボランティアが行っている。特に、春のアユ放流祭の日に行われる紫川河川清掃には、多数の地域住民の他、小学生と保育園児も参加する。紫川生きもの調べでは、自然豊かなところでしか生息できない生きものもいる事など、活動を通じて、自然環境・生命の大切を学んだ。



課題 これまでの取組から、地域住民の環境への意識の高まりがあるが、まだ一部には理解が徹底されていない。今後一層、連携して校区内外の住民の環境保全の意識をさらに高めることが必要だ。

今後の展開

清流の象徴「アユ」がいつでも眺められる紫川の復活を目指す。今後も流域各校区の連携を図り、取組を工夫して参加者を増やしていきたい。

ガシャモク再生の会 小倉南区

実施内容

活動名称 小倉南区に自生する絶滅危惧ガシャモク等の
生物多様性保全の市民活動

取組内容

目的・趣旨 ガシャモクの再生・保全・啓蒙活動は、行政、地元自治会、銀杏会、財産組合、市立市丸小学校や地元の皆さま等の多様な方々と協働で協力していくことが不可欠である。再生 12 年目となり、ガシャモクやインバモ等の絶滅危惧種を見守りながら、地元自治会や市立市丸小学校等との協働で自生池および周辺の環境保全、そして新たな生物多様性保全活動を主要テーマとしている。

活動内容 活動は、①自生池における水草の観察と保全活動、②安全対策、土手保全対策、水質浄化の池干し、野生動物対策等の多様な活動、③市立市丸小学校とのガシャモクや水質等の環境学習活動、④北九州市民対象のガシャモク観察会等、⑤ガシャモク資料館の活用に伴う啓蒙活動、⑥ガシャモク再生に伴う池生態系の生物多様性保全活動等である。

成果 今年度の水草繁茂期の気象は、高温・少雨の気象条件となって陸上生物や、水中生物にとって厳しい環境が晩秋まで継続した。夏季、ガシャモク等の花穂は水面上で見ることが少なかった。池は再生 12 年目、水質は池底まで目視、水色もコバルトブルーからエメラルドグリーンに変化し、水草の生育状況を水面下に目視した。ワンド部の泥厚変化は昨年比 +4cm と堆積した。今年は、イソツバ等の野生動物の侵入圧が少なく、水草等の食害圧が少なかった。



成果 北九州市民を対象にガシャモク観察会を予定したが、降雨で中止となった。市立市丸小学校で栽培中のガシャモク植芽をお糸池に撒きだした。14 回目になる 全国一斉水質調査に参加し環境学習の体験授業を行った。ガシャモク資料館で栽培中のガシャモク系統保存と植芽再生試験は継続実施、その他としてガシャモク会報作成や池周辺の清掃等を市立市丸小学校や自治会等と協力し実施した。

今後の展開

北九州市の財産ガシャモクをキーワードに、お糸池に生育するガシャモク等の再生・保全活動、里地・里山を見守る活動を皆さんと協働しながら、16 年間行っている所です。

曽根新田花咲く町づくりふれあい会 小倉南区

実施内容

活動名称 絶滅危惧種塩生植物ハママツナ、ホソバハマアカザ、
ハマサジの保護

取組内容

目標 数少なくなったハママツナ、ホソバハマアカザ、ハマサジを絶滅させない。

活動内容

- ・ゴミ拾い、よしの草取り
- ・護岸の草切り
- ・パイプの補強
- ・網の上下をロープで補強
- ・3日おきにプランターに潮水をかける
- ・パイプの塗装
- ・塩生植物に肥料を与える

成果 1年草で種から育てるので年々うまくなって来た。



今後の展開

種が自然に落ちて育つのと、公園と喜多村邸で育てた物を色や高さを比較して研究して行く。

公益財団法人タカミヤ・マリバー環境保護財団 八幡東区

実施内容

活動名称 第38回紫川アユの放流祭

取組内容

目的・趣旨

北九州市のシンボルである紫川へアユの放流を行い、アユの保護増殖を行う。同時に、地域の小中学生を含め放流祭に参加いただくことで、川や生き物を大事にする道徳心や地域を大切にす愛郷心を醸成する。

活動内容

紫川へのアユ放流。(今町市民センター前、長行、長尾の三箇所)

成果

約1万尾のアユを、紫川の三箇所(今町市民センター前、長行、長尾)に、地元の皆さんの協力をいただきながら放流を行った。

課題

本年は、コロナウイルス蔓延のため、アユ放流のみを地域の方々と一緒にやって行った。コロナウイルスの状況が落ち着けば、今後、より多くの子どもたちに参加を促したい。



今後の展開

来年度は状況を鑑みながら、イベント活動を徐々に実施していきたい。

日本カブトガニを守る会福岡支部 小倉南区

実施内容

活動名称 曾根干潟のカブトガニ生息調査・保全保護・啓発活動

取組内容

目的・趣旨

- 曾根干潟のカブトガニ幼体調査、産卵調査を行い生息状況を把握する。
- 主要な産卵地の朽網川河口海岸で、産卵行動や卵の発生に影響する漂着ゴミや海藻類の回収を行い産卵場整備を行う。
- 産卵観察会やエコライフステージ等のイベントを通して曾根干潟の重要性やカブトガニ保護の必要性を伝える。

活動内容

- 6月～8月の大潮～中潮に産卵調査(41日)、3～1月に幼体調査(春愁の定期調査と、各月の生態調査)実施
- 6月17日(土)地元まち協、企業と共同で朽網川河口海岸の清掃活動を行い漂着ゴミを片付け産卵場整備を行った
- 7月17日の海の日を守る会主催の産卵観察会と海の清掃活動を行った。
- 11月11日・12日のエコライフステージに、カブトガニの棲む海曾根干潟を未来に！をテーマで出展し啓発を行った。



成果

- 6月17日の清掃活動では、53名の参加で、漂着ゴミ45L102袋、大型ブイ、流木等軽トラ1台を回収した。当日だけでなく、ボーイスカウトや他団体、個人での海ごみ回収へと活動が広がっている。
- エコライフステージでは、2日間で500名を超えるブース来訪者へカブトガニの事や干潟の重要性を啓発できた。

課題

漂着ゴミの量が増え、回収作業が追い付かず、産卵場所の確保が難しい時がある。

今後の展開

干潟の海藻類の異常繁茂は、ここ数年小康状態であるが、梅雨等の大雨が降った後に、東風が吹くと、河川から海へ出たゴミ類が干潟内に入り、砂浜に漂着する。このような現象はこれからも繰り返されると思われる。根本的な方策がない為、ゴミ、海藻類の撤去回収作業を来年度以降も地域と連携しながら続けていきたいと思う。

呼野環境整備委員会 小倉南区

実施内容

活動名称 里山景観と自然環境の保全環境整備

取組内容

目的・趣旨

地元呼野の農業用水ため池に自生地している、絶滅危惧種ガシャモク保全の為、池周辺の竹林、里山樹木伐採等々の自然環境保全整備。湖面周囲安全対策。イノシシ、鹿、猿等の野生動物対策に取り組む。

活動内容

自生する湖面への陽当たりの改善環境保全活動。池の山側湖面周辺、樹木の日陰を解消する為、農閑期11月～3月水落し期間中、湖面より幅5m、周囲100mにわたり、伐採整備作業、土手草刈清掃作業、水質汚濁防止の水抜き管理を実施。野生動物対策で監視カメラを長期間、2ヶ所に設置し現在分析中。

成果

絶滅危惧種の保全活動当初より試行錯誤しながらも、水落しによる水質改善策。樹木伐採による陽当たり向上作業等々を重ね、現状確認で保全作業に確信を得た。



今後の展開

20年前は、消滅の危機に直面していた、ガシャモクですが、「ガシャモク再生の会、市丸小学校、行政、地元」の協働で始まった保全活動の取り組みで、順調に成果を挙げ現在は池全域に繁殖しています。この現状を保つ為に、一層の郷や目と自然環境の保全整備を推進したいと思います。

私たちの未来環境プロジェクト 戸畑区

実施内容

活動名称 水辺と森のふれあいプロジェクト

取組内容

目的・趣旨 河川・道路等に漂着ゴミ・ポイ捨て等が増えてきていることから、ゴミ問題を解決するために清掃活動を行います。また生き物とのふれあいを通じて、私たちにとって自然が如何に大切なものであるかを自然観察(主に昆虫関係)を通して考えるキッカケをつくります。

活動内容 道路清掃活動、海岸周辺清掃活動(2ヶ月に1回ペースの活動) 自然観察(主に昆虫)(年2回程度)

成果 継続して実践して活動することにより老若男女問わず徐々に参加頂いています。



課題

「人を育てる人」を育てること。

今後の展開

点と点を結び線となり、やがて面への広がりとなるきっかけづくりを目指し続けていきます。

光和精鉱株式会社 戸畑区

実施内容

活動名称 地元戸畑区の公園清掃と北九州市まち美化清掃への参加

取組内容

目的・趣旨 当社は廃棄物の適正処理を通じて、環境保全と循環型社会の構築に貢献することを使命としている。当社では、この考え方を具体的に実践する活動として地域の清掃活動を行っている。(毎月第4土曜日に地元戸畑区の大橋公園と戸畑駅周辺で実施)また、自治体や他団体が主催する環境保全に関する各種催しへの協力・支援を行うことで地域環境保全に寄与している。(北九州市まち美化清掃、市民いっせいまち美化の日への参加)こうしたボランティア活動を通じて、社員一人ひとりが地域社会に直接触れ合うことの重要性を知った。地域社会に直接触れ合うことでより一層環境保全に対する意識を高めていきたい。



TOTO株式会社 小倉北区

実施内容

活動名称 TOTO水環境基金助成先団体の活動

取組内容

目的・趣旨 地域の水とくらしの関係を見直し、再生することを目指した創造的な取組を支援します。地域の特徴を活かした新しい文化を創り出す契機となることを期待しており、助成金による経済的支援だけでなく、TOTOグループ社員の活動参加や情報交換などを通して、年々活動の輪が広がっています。

活動内容 2005年の設立以来、のべ305団体を支援してきました。活動地域は国内42都道府県、海外17カ国に及びます。



戦略基本目標 4 人と自然の関係を見直し、自然から多くの恵みを感じることができる状態の維持

福岡県立北九州高校魚部 小倉南区

実施内容

活動名称 水辺の環境を伝えていく学習活動

取組内容

目的・趣旨 河川や湿地で調査する中で感じた、地域の自然環境や生息する生きものの事などを交流会や生態展示を通して多くの方に伝えていき、生きものだけでなく自然環境への興味関心を高めることを目的として活動しています。

活動内容 ①魚部と図鑑作り 響灘ピオトープで夏休み期間に実施される人気のイベントで、参加者は普段は入れない湿地に入り魚部員と水生昆虫を採取しました。採取した生きものは部員たちが説明し、参加者たちはそれを参考にオリジナルの図鑑を作りました。
②紫川の生きもの調べ 今年で3年目となる交流イベントで、参加してくれた今町小学校の子供たちと一緒に紫川で生きもの探しをしました。採取した生きものは部員たちが説明し、子供たちは観察したり触れたりしながら生きものについて学ぶことができました。



成果 ①に関して、魚類と違って普段あまり目にする機会が少ない水生昆虫の事を知ってもらえるいい機会になっていると思います。このようなイベントを通して、多くの子供たちが自然と触れ合える機会が増えていくのではないかと考えます。
②に関して、校区にある紫川にすむ生き物について、見るだけでなく実際に自分たちで採取するという経験は子供たちにとっていい学びになると思います。

今後の展開 生きものの知識だけでなく自然環境保全の意識が芽生えてくるのが期待されるので、こうした交流やイベント活動を定期的かつ継続して行っていこうと思います。

NPO法人グリーンワーク 小倉北区

実施内容

活動名称 北九州みどりのじゅうたんプロジェクト
～保育園・幼稚園・小学校芝生化事業～

取組内容

- 目的・趣旨
- ①子供達の健康増進と体力向上
 - ②ヒートアイランド現象の抑制
 - ③地域景観の向上
 - ④地域コミュニティの形成
 - ⑤環境教育の推進

活動内容 主な活動は、子供達、先生、地域の方々とNPOの協働作業で実施している。
○保育所・幼稚園園庭芝生化事業
・芝生環境紙芝居の実施 ・芝苗の植え付け
・冬芝の種まき ・ネイチャーゲーム(自然ビンゴ)の実施
○小学校運動場芝生化事業
・ポット苗の育成 ・ポット苗の植え付け
・冬芝の種まき ・肥料播き



成果 園庭や運動場を芝生化することにより、ヒートアイランド現象の抑制や生物多様性に役立つことを紙芝居やゲームによりわかり易く子供達に伝えることが出来た。

課題 芝生化実施済みの園庭や運動場の管理方法の検討。

今後の展開 保育所・幼稚園では、更に環境教育を推進していきたい。小学校では地域の方々の参加による地域コミュニティの形成に力を入れたい。

グリーンパーク活性化共同事業体 若松区

実施内容

活動名称 「美しい緑の環境首都」への貢献

取組内容

目的・趣旨 「市の施策である『美しい緑の環境首都』への貢献」の一環として、また自然環境保全の啓蒙活動の取組として、北九州市響灘緑地/グリーンパークでは、春と秋のイベント時に来園者への花苗や種のプレゼントを実施しております。

活動内容 2023年度はイベント企画として来園者に花の苗や種をプレゼント致しました。春の「ファミリーフラワーフェスティバル2023」では4/29・30にディモルフオセカの苗を両日で500ポット、5/4・5にひまわりの種を両日で250袋、「秋のバラフェア」では期間中(10/14~11/12)の土曜・日曜・祝日にバラの挿し木苗のプレゼントを実施しました。



成果 「秋のバラフェア」では計4000株のバラの苗が来園者に配付されました。

響灘植樹会実行委員会

若松区

実施内容

活動名称 鳥がさえずる緑の回廊植樹会

取組内容

目的・趣旨

多くの市民の参加を得て緑豊かな郷土をつくっていく取組の一つとして、「響灘埋立地に木を植えよう」を合い言葉に、市民、NPO等からなる実行委員会主催による植樹会を開催する。

活動内容

2千ヘクタールにも及ぶ広大な響灘地区の幹線道路沿道を対象に15年程度かけ30万本のどんぐりの苗木を植栽する取組で、平成17年度にスタートした。市民、NPO、団体、企業、行政が協働して響灘地区に苗木の植栽および管理を行う。

成果

- ・市民自らが木を植えることにより自然の大切さを学び、美しい景観を自ら作り、地球規模の環境問題に関心を持つきっかけとなった。
- ・新型コロナウイルス感染症対策としての休会を経て、令和5年度からは、どんぐりに限定せず、場所に応じた樹種を選定して植えている。



今後の展開

- ・今後も、響灘地区での緑の回廊づくりについて、市民、NPO、団体、企業及び行政が協働により持続的な活動を目指す。

戦略基本目標 5 自然環境調査を通じて情報を収集、整理、蓄積し、保全対策などでの活用

九州国際大学附属高等学校生物研究部

八幡東区

実施内容

活動名称 北九州市の動植物調査

取組内容

目的・趣旨

フィールドワークを通じて、北九州市に生息する動植物を明らかにし、環境改善に役立てること。また、自然に精通した人材を育成すること。

活動内容

北九州市内のエコウモリの生息状況の調査。
平尾台の洞窟棲コウモリの調査。

成果

これまでの活動を通じて、北九州市内においてエコウモリ、キクガシラコウモリ、コキクガシラコウモリ、モモジロコウモリ、ユビナガコウモリの生息を確認してきた。2017年にはキクガシラコウモリの出産保育コロニーを、2019年にはテングコウモリの生息を市内で初めて確認することが出来た。



課題

北九州市全域のコウモリ類の生息実態を明らかにすること。

今後の展開

北九州市に生息するコウモリ類の、より詳細な分布状況を明らかにする。

ジオ&バイオ研究会

八幡東区

実施内容

活動名称 北九州の多様かつ貴重なジオパーク資源を生かしたまちづくり

目的・趣旨

域内各地のジオパーク資源を学際的に調査研究し、できるだけ楽しく面白く解説(インタープリテーション)することにより、市民や観光客向けの学習資源化を図り、自然環境の維持保全ならびに北九州ジオパークの実現に貢献することを目指す。

活動内容

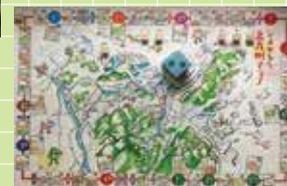
2011年の発足以来、ジオパーク設立支援のジオ普及活動に参画している。
また、製作した「ジオかるた北九州」を活用して市民センターや大学、博物館、市立小学校などで幅広く北九州のジオ(大地)の魅力や多様な環境を遊びながら学ぶ講座を担当している。

成果

いのちたび博物館主催のジオツアーなどへスタッフとして支援参加して、「北九州ジオパーク」設立に向けて市民への意識醸成が進んだ。
「ジオかるた北九州」を活用した各種講座や授業で幅広い世代に北九州のジオ(大地)の魅力や多様な環境などについて発信できた。



市民センターや児童館に寄贈した「ジオかるた北九州」



課題

ジオパーク推進において当研究会が要望に応えられる組織となるために、会員の知識力・行動力・発想力等の強化を図り、環境変容に柔軟に対応できる組織づくりを行っていきたい。

今後の展開

自然環境保全と北九州ジオパーク実現を後押しする市民団体として、今後の北九州ジオパークの手続きの進展をフォローしていきたい。また、SDGs活動の出前講座などで「ジオかるた」を活用して北九州のジオの魅力を発信していきたい。

日本野鳥の会北九州支部

戸畑区

実施内容

活動名称 野鳥をシンボルとした自然保護活動

取組内容

目的・趣旨

コロナ感染予防しながら次の活動を行いました。
楽しい探鳥会、野鳥の生態を調べる調査・研究、野鳥の生息環境を守る保護活動を3本柱として取り組み、市民のみなさんへの普及を図りながら、北九州市とその周辺をフィールドとして活動します。

活動内容

探鳥会：2023年は、23回実施(参加者は343名)
[23年12月末時点]
調査研究活動：ハチクマの渡り調査(探鳥会を兼ねる)、ガン・カモ・ハクチョウ類越冬調査、曾根干潟鳥類生息調査、鳥獣保護区内鳥類生息調査(福岡県委託による)を実施
保護活動：野鳥の違法な飼養・販売・捕獲の情報収集中、風力発電が野鳥に与える影響の低減・回避のため関係機関と協議、曾根干潟の清掃活動
普及活動：小中学校、NPO団体等への出張探鳥会や講座依頼に対応
機関誌発行：支部報「北九州野鳥」を年12回発行



小学生への野鳥観察指導(曾根干潟)

成果

- ①探鳥会や調査を実施の結果、北九州市における野鳥の動向を把握
- ②保護活動の成果が表れていないが、野鳥の代弁者としての役割は果たしている
- ③出張探鳥会や室内講座では好評を得ている

今後の展開

「野鳥も人も地球のなかま」を合言葉に、市民のみなさんと共に野鳥を通じて自然とふれあい、自然を守る活動をしていきたい。

NPO法人 SoELa

若松区他

実施内容

活動名称 環境学習カードゲーム
「My Earth (マイアース) 響灘パッケージ」

目的・趣旨

幅広い世代の全生活者に対して、地球環境、犯罪、高齢化、地域活性化など社会問題に対する啓発、教育に関する事業をエンタテインメントの手法を用いて行い、主体的に行動を起こす人々で溢れる社会の構築に貢献する

活動内容

社会問題に関する啓発・教育事業、コンテンツの企画開発事業、地域活性化や観光の振興に関する事業の1つとして、地域の環境活動団体や大学などで監修を行い、教材としての価値を担保したパッケージ(環境学習カードゲーム「My Earth」など)を制作する地域プロジェクトを実施

成果

環境学習カードゲーム「My Earth 響灘パッケージ」が完成。制作の過程においては、響灘ジオトープ、北九州市立大学教授の監修の下、西日本工業大学、北九州市立大学の学生がデザインを担当し、高校生が体験会のファシリテーターを担当するなど、地元や教育機関などと協働



課題

環境学習カードゲーム「My Earth」の体験会における学習機会の創出とファシリテーターの育成

今後の展開

環境学習カードゲーム「My Earth 北九州パッケージ」へ拡大展開

